

今回モータースポーツセミナー（ダートトライアル入門編）に参加させていただき、まずは講師の方々、セミナー運営に当たられた方々に御礼申し上げます。

私自身、モータースポーツはもっぱら観戦がメインで、自分で走行となりますとサーキット体験走行、お試しジムカーナ程度で走行をした経験があります。その意味ではこのようなセミナーとして、基礎的な部分を修練することは大変意義のあることかと感じました。必要にして十分な内容では無いかと思っています。

運営的には受講生よりも講師の方々の同乗順が大変そうで、そちらの方が気になりました。ダートラセミナーということで、一般車両では不安だった路面も軽石がメインで跳石による傷は無かったように思えます。その意味では参加しやすい路面状況だったのではないのでしょうか。

ただ今回は参加車両の8割以上が本格的ダートラ車両、ダートタイヤということもあって、ガード無し&ラジアル車両としてはやはり参加に難ありという感じもありました。

路面もダートタイヤで掘れて、ラジアル組にはツライところでした。余談ですが掘れた路面で私の車輛も残念ながら損傷の憂き目となってしまいました。この点に関してはガード付きのレンタルカーがあると良いかも知れません。

いわゆる一般車両の体験者を増やすということでは、ラジアルのみ、もしくはクラス分けをしっかりとする必要性はあるように感じました。潜在的に車を走らせることが好きな方々もまだまだ居られますし、とりあえず車をコントロールするという楽しみを全面に出せるイベントでは無いかと思っております。普段の一般道路でドリフト走行を安全にすることは皆無ですし、北海道人的には雪道での練習にもなるかと思えます。

個人的には満足の日であったと断言させていただきます。サーキットで黙々と走るよりも、講師の方々の講評あり、パドックでの交流があったりで楽しいイベントでした。新千歳のダートコースは走りやすく万人にお勧めできると感じます。土系のショップだけではなく、広報もしっかりしてくれば、まだまだ参加者は増えるのではないのでしょうか。札幌では秋にWRCラリージャパンも開催されますので、また状況が変わるかも知れません。ぜひ北海道ダートトライアル界が発展していく事を祈念しております。